

令和7年度

事業報告書

I 法人事業報告書

II 施設事業報告書

社会福祉法人 青い鳥

社会福祉法人 青い鳥 理念

共に悩み、

共に感動し、

共に認めあえる

法人を目指します。

目 次

I 法人事業報告 1 ページ

- (1) 総括（1年の振り返り）
- (2) 法人役員（理事、監事）、評議員、顧問名簿
- (3) 理事会開催状況
- (4) 評議員会・臨時評議員会開催状況
- (5) 監事監査実施状況
- (6) 静岡市 指導監査等実施状況
- (7) 地域貢献事業等実施状況
- (8) 職員関連事項
- (9) 社会福祉充実残額について
- (10) その他

II 施設事業報告

1. 日本平学園（就労継続支援B型事業、生活介護事業） . . . 6 ページ

- (1) 総括（1年の振り返り）
- (2) 利用者の状況
- (3) 利用率
- (4) 工賃支払い状況
- (5) 委託作業収入実績
- (6) 行事、イベント状況
- (7) 実習生及び見学者受け入れ状況
- (8) 職員研修実施状況
- (9) 苦情申し立て状況
- (10) 会議開催状況
- (11) 広報誌「青い鳥」発行状況
- (12) その他

2. 日本平ホーム・日本平ハイツ(共同生活援助〔包括型〕事業)・15 ページ

- (1) 総括(1年の振り返り)
- (2) 利用者の状況
- (3) 利用実績
- (4) 職員会議実施状況
- (5) 利用者ミーティング実施状況
- (6) 避難訓練実施状況
- (7) 地域連携推進会議実施状況

3. 日本平ホーム短期入所事業所(短期入所事業) 18 ページ

- (1) 総括(1年の振り返り)
- (2) 利用実績
- (3) 避難訓練実施状況

事業報告の付属明細書 20 ページ

I 法人事業報告

(1) 総括（1年の振り返り）

1. 「職員の人材確保と職員教育の実施」について

令和7年度はグループホームの24時間365日稼働に向けての準備を始めたこともあり、職員の人材確保は必須の状況であった。重点項目の①外国人採用、②新卒者採用、③職員補充 について取り組みを実施した。新卒採用については、近隣大学の就職課を訪ねたり、学生の実習を受入れたりしたが、及ばず叶わなかった。

外国人採用については、令和8年度に向け新たに2名の外国人採用の準備を行い現地に赴き、採用へと繋いだ。また職員補充については、送迎運転手が年度当初から決まらず、期日限定人材紹介「タイミー」の利用を試みた。結果的にその「タイミー」に何回か来た人に就職を促し、1名確保し入職するに至った。

また職員教育については外部研修に16件、資格取得1件、日本語教室1件、当事業所主催の虐待研修に運転手を除く職員が参加するという例年になく活発な実績であった。職員自身が学びたいという研修に参加してもらう形式を取り、より有意義な研修となるよう試みた。

職員の人材確保という、どの事業所にも課題となっている事については、今後も検討を重ねて対策を取っていく必要があると実感した。

2. 「新規利用者の確保」について

特別支援学校の実習生受入れをはじめ、同学校主催の事業所説明会に参加したり、また当事業所主催で、特別支援学校の保護者向けに独自の見学説明会を開催したりして、新規利用者の確保に努めた。結果的には他事業所から新規利用者1名を迎え入れることが出来たが、令和8年度に向けての新卒利用者はゼロであった。7年度は種まきの状態となった。また開設当初から在籍した利用者が、保護者の高齢化の影響で4名退園されるという現状を目の当たりにし、今後数年の間には、その状況が加速すると予測される。今後引き続き「利用者の獲得」については注力し、結果を出していく必要性を感じた年度となった。

3. 「地域貢献事業の実施及び推進」について

重点項目として「地域社会への貢献（交流会等年間3件以上）」を掲げて取り組んだ。生活困窮者の利用料免除の継続、地域貢献活動として東豊田中央こども園

園児とのポッチャ交流会の実施、近隣大学、短期大学学生の実習受入れ、大学での福祉講演を実施し、地域社会への貢献を継続した。

4. 「役員改選の完遂及び理事会、評議員会の定期開催」について

役員、評議員改選の年であり、また理事長も代わることも重なって、5月、6月は理事会、評議員選任・解任委員会、評議員会の実施が続いた。定款に則って役員改選について滞りなく完遂することが出来た。また以降の理事会、評議員会も対面式にて開催し、令和7年度は理事会4回、評議員会3回、評議員選任・解任委員会1回を実施することが出来た。

(2) 法人役員（理事、監事）、評議員、顧問名簿 (令和8年3月31日現在)

| 役職 | 定数(名) | 現員(名) | 氏名 |
|-----|-------|-------|---|
| 理事 | 6～8 | 6 | 落合 功(理事長) 磯部 智明(副理事長) 川島 貴美江 真鍋 正誠 八木 克典 伊藤 大介 |
| 評議員 | 7～9 | 7 | 鈴木 奈保美 末永 淳子 齊藤 敏春 田中 みどり 佐藤 利男 芝 知美 山田 誠 |
| 監事 | 2 | 2 | 白鳥 幸男 岡田 貞夫 |
| 顧問 | 若干名 | 1 | 山田 孝史 |

(3) 理事会開催状況

| 開催日 | 審議内容・報告事項 | 結果 |
|-----------------|--|----|
| 第1回 令和7年6月6日 | 第1号議案 育児介護休業規程の改正について | 可決 |
| | 第2号議案 評議員選任・解任委員の選任について | 可決 |
| | 第3号議案 評議員選任・解任委員に提案する「次期評議員候補者」の選出について | 可決 |
| | 第4号議案 役員候補者の選出 | 可決 |
| | 第5号議案 顧問の選任について | 可決 |
| | 第6号議案 令和6年度 各種事業実績(案)について | 可決 |
| | 第7号議案 令和6年度 各種会計決算(案)について | 可決 |
| | 第8号議案 評議員選任・解任委員会の開催日時等について | 可決 |
| | 第9号議案 定時評議委員会の開催日時等について | 可決 |

| | | |
|-------------------|---|--|
| 第2回 令和7年6月23日 | 第1号議案 理事長の互選について 第2号議案 副理事長の互選について | 可決 可決 |
| 第3回 令和7年10月30日 | 第1号議案 育児・介護休業等に関する規則の改正について 第2号議案 令和7年度 第1次各種会計補正予算(案)について 第3号議案 第1回臨時評議員会の開催日時等について | 可決 可決 可決 |
| 第4回 令和8年3月12日 | 第1号議案 一時金の支給について 第2号議案 日本平ホームの増築について 第3号議案 日本平ホーム運営規程の改正について 第4号議案 令和7年度 第2次各種補正予算(案)について 第5号議案 令和8年度 各種事業計画(案)について 第6号議案 令和8年度 各種当初予算(案)について 第7号議案 令和7年度 第2回臨時評議員会の開催日時等について | 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 |

(4) 評議員会・臨時評議員会開催状況

| 開催日 | 審議内容・報告内容 | 結果 |
|--------------------------|--|----------------|
| 第1回 定時評議員会 令和7年6月23日 | 第1号議案 役員（理事及び監事）の選任について 第2号議案 令和6年度 各種会計決算(案)について | 可決 可決 |
| 第1回 臨時評議員会 令和7年11月18日 | 第1号議案 令和7年度 第1次各種会計補正予算(案)について | 可決 |
| 第2回 臨時評議員会 令和8年3月26日 | 第1号議案 令和7年度 第2次各種補正予算(案)について 第2号議案 令和8年度 各種事業計画(案)について 第3号議案 令和8年度 各種当初予算(案)について | 可決 可決 可決 |

(5) 監事監査実施状況

| 開催日 | 監査事項 | 意見 | 指摘事項 |
|------------------|------------------------|----------------|----------|
| 第1回 令和7年5月16日 | 理事の業務執行状況 法人の財産管理状況 | 適正である 適正である | 無し 無し |

| | | | |
|-----------------------------|---------------|-------|----|
| (決算監査) | 法人及び施設の業務執行状況 | 適正である | 無し |
| | 法人及び施設の会計状況 | 適正である | 無し |
| | その他の状況 | 適正である | 無し |
| 第2回 令和7年10月17日 (定期監査) | 理事の業務執行状況 | 適正である | 無し |
| | 法人の財産管理状況 | 適正である | 無し |
| | 法人及び施設の業務執行状況 | 適正である | 無し |
| | 法人及び施設の会計状況 | 適正である | 無し |
| | その他の状況 | 適正である | 無し |

※監査項目内容は、監査チェックマニュアルによる。

(6) 評議員選任・解任委員会実施状況

| 開催日 | 審議内容・報告内容 | 結果 |
|-----------------|--------------------|----|
| 第1回 令和7年6月7日 | 第1号議案 次期評議員の選任について | 可決 |

(7) 静岡市 指導監査等実施状況

令和7年度未実施

(8) 地域貢献事業等実施状況

① 生活困窮者支援事業

- ・日本平学園を利用している生活困窮者の利用料免除（対象者1名）

② 地域清掃活動

- ・日本平学園北側、東名高速道路側道草刈り（5月）
- ・東豊田中央こども園側斜面草刈り（6月）

③ 地域交流活動

- ・東豊田中央こども園 年中園児23名 日本平学園にてポッチャ交流会
令和8年3月13日（金）

④ 地域大学にて職員による講演

- ・静岡県立大学短期大学部にて、企画課長による学生向けの福祉講演
令和7年6月20日（金）

(9) 職員関連事項

① 職員配置

(令和8年3月31日現在)

| 区 分 | 日本平学園 | 日本平ホーム | 日本平ハイツ |
|-------|-------|--------|--------|
| 正 職 員 | 5名 | 1名 | |
| 契約職員 | 8名 | | 1名 |
| パ ー ト | 6名 | 4名 | |
| 運 転 手 | 2名 | | |
| 計 | 21名 | 5名 | 1名 |

② 職員の異動状況

(令和8年3月31日現在)

| 区 分 | 採 用 | 退 職 |
|-------|-----|-----|
| 正 職 員 | | 1名 |
| 契約職員 | 3名 | 2名 |
| パ ー ト | 2名 | 1名 |
| 運 転 手 | 2名 | 1名 |
| 計 | 7名 | 5名 |

③ 職員健康診断実施状況(1回/年)

- ・山田医院にて5名 (4/26, 5/10, 24, 6/28)
- ・静岡市静岡医師会健診センターにて10名 (6/14, 28, 7/12, 26, 9/13)

④ 職員面談実施

令和7年度未実施

(10) 社会福祉充実残額について

残額なし

(11) その他

寄附者 堀向 文憲 様 大久保 道子 様

II 施設事業報告

1. 日本平学園(就労継続支援B型事業、生活介護事業)

(1) 総括(1年の振り返り)

1. 「利用者の健康維持及び安全確保」について

例年どおり、嘱託医の山田医師による健康診断と静岡済生会病院の健康診断パックの受診と毎月看護師による血圧測定を実施し健康維持を図った。また急な体調不良や異変が観られた場合には、すぐに保護者と連絡を取り、速やかに専門医の受診という対応をとった。自身から不調の訴えが難しい利用者が多い為、日頃からの健康観察が改めて重要であると感じている。また集団生活の場であるので、感染症対策は引き続き継続し、健康、安全最優先の方針に基づいて実施した。

2. 「利用者支援の質の向上」について

就労継続支援B型事業、生活介護事業の各事業ともに、日々利用者支援に際しては様々な課題が挙がってきた。事業所とご家庭が同じ方向性で支援を行う為、保護者との話し合いの場を設けたり、各班職員間での話し合いを実施し、良い方向へ進むように対応して来た。職員には利用者主体の支援を行う為、支援の基本である

「職員倫理綱領及び行動規範」を時々読み込むように伝えたり、セルフチェックを実施して職員自身の支援に対する意識を高め、支援の質の向上を図った。また外部研修への参加に際しては、職員自身が学びたい研修を選択し、受講してもらう方法をとった。自己研鑽とモチベーション向上に努めた。

3. 「作業工賃支給の継続」について

前年度、就労継続支援B型事業の平均工賃が37,818円となり、目標値である35,000円を数年連続して超える結果となった。利用者にとっても事業所にとっても喜ばしい結果であったが、振り返るとその半面、中には作業を主として活動出来ない利用者もいて、今一度支援の見直しを行う時期と考え検討した。グループホームの24時間365日化が急務となってきた現状もあり、職員もそちらに注力する必要がある。そこで、プラモデル作業における機械面での作業は撤退する事として企業側に申し出を行った。またそれにより、工賃の金額が下がる可能性もある旨を保護者に説明し承諾を得た。令和7年度は「工賃向上」から可能な限りの「維持」という方向性にシフトして取り組んだ。結果35,000円は維持出来た。

(2) 利用者の状況 (令和8年3月31日現在)

多機能型 定員40名(生活介護24名、就労継続支援B型16名)

現員39名(生活介護24名、就労継続支援B型15名)

4月 特別支援学校より男性1名入園

6月 生活介護の男性1名施設入所へ移行にて退園

8月 他事業所より男性1名入園

9月 生活介護の男性1名、女性2名他事業所へ移行にて退園

① 障害支援区分 (単位：名)

| 区分 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 計 |
|------|---|---|---|----|----|---|----|
| 就労B型 | | 1 | 4 | 8 | 2 | | 15 |
| 生活介護 | | | | 6 | 17 | 1 | 24 |
| 計 | | 1 | 4 | 14 | 19 | 1 | 39 |

※区分の数字が大きくなるほど、手厚い支援が必要です。

② 年齢別在所要者数 (単位：名)

| 区分 | 10代 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 計 | 平均 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|-------|
| 男性 | 1 | 12 | 7 | 5 | 3 | | 28 | 33.4歳 |
| 女性 | | | 3 | 1 | 5 | 2 | 11 | 49.6歳 |
| 計 | 1 | 12 | 10 | 6 | 8 | 2 | 39 | 38歳 |

③ 療育手帳区分 (単位：名)

| 区分 | A | B | 計 |
|----|----|---|----|
| 男性 | 24 | 4 | 28 |
| 女性 | 6 | 5 | 11 |
| 計 | 30 | 9 | 39 |

④ 身体障害状況 (単位：名)

| | 視覚 | 言語 | 上肢 | 下肢 | 運動 | 呼吸器 | 計 |
|----|----|----|----|----|----|-----|---|
| 男性 | 1 | | 1 | | 1 | 1 | 4 |
| 女性 | 1 | 1 | 2 | | | | 4 |
| 計 | 2 | 1 | 3 | | 1 | 1 | 8 |

※合計は重複している人数。

⑤ てんかんの状況

| | |
|----|----|
| 男性 | 9名 |
| 女性 | 0名 |
| 計 | 9名 |

⑥ 自閉症（自閉傾向）の状況

| | |
|----|-----|
| 男性 | 9名 |
| 女性 | 7名 |
| 計 | 16名 |

(3) 利用率

(利用率は定員に対してのものです。延利用者数 / (定員 × 開所日数))

| 生活介護 | 定員 | 現員 | 延利用者数 | 開所日数 | 利用率 |
|------|-----|-----|--------|------|----------|
| 4月 | 24名 | 27名 | 503名 | 22日 | 95.2% |
| 5月 | | | 514名 | 23日 | 93.1% |
| 6月 | | | 507名 | 22日 | 96.0% |
| 7月 | | 26名 | 516名 | 23日 | 93.4% |
| 8月 | | | 513名 | 23日 | 92.9% |
| 9月 | | | 480名 | 22日 | 90.9% |
| 10月 | | 23名 | 475名 | 23日 | 86.0% |
| 11月 | | 24名 | 480名 | 22日 | 90.9% |
| 12月 | | | 480名 | 23日 | 86.9% |
| 1月 | | | 494名 | 23日 | 89.4% |
| 2月 | | | 424名 | 20日 | 88.3% |
| 3月 | | | 479名 | 23日 | 86.7% |
| 計 | | | 5,865名 | 269日 | 平均 90.8% |

| 就労B型 | 定員 | 現員 | 延利用者数 | 開所日数 | 利用率 |
|------|-----|-----|--------|------|----------|
| 4月 | 16名 | 15名 | 305名 | 22日 | 86.6% |
| 5月 | | | 325名 | 23日 | 88.3% |
| 6月 | | | 313名 | 22日 | 88.9% |
| 7月 | | | 312名 | 23日 | 84.7% |
| 8月 | | 16名 | 337名 | 23日 | 91.5% |
| 9月 | | | 334名 | 22日 | 94.8% |
| 10月 | | | 352名 | 23日 | 95.6% |
| 11月 | | 15名 | 312名 | 22日 | 88.6% |
| 12月 | | | 329名 | 23日 | 89.4% |
| 1月 | | | 323名 | 23日 | 87.7% |
| 2月 | | | 288名 | 20日 | 90.0% |
| 3月 | | | 335名 | 23日 | 91.0% |
| 計 | | | 3,865名 | 269日 | 平均 89.8% |

(4) 工賃支払い状況

(単位：円)

| | 就労B型 | | | 生活介護 | | |
|-----|---------|--------|---------|--------|--------|--------|
| | 最高額 | 月平均 | 前年度比 | 最高額 | 月平均 | 前年度比 |
| 4月 | 35,000 | 28,517 | -5,601 | 6,000 | 2,885 | -4,169 |
| 5月 | 35,000 | 28,773 | -5,692 | 6,000 | 2,792 | -3,777 |
| 6月 | 35,000 | 28,713 | -6,600 | 6,000 | 2,831 | -4,246 |
| 7月 | 35,000 | 28,260 | -7,053 | 6,000 | 2,884 | -4,131 |
| 8月 | 35,000 | 26,606 | -7,569 | 6,000 | 2,908 | -3,938 |
| 9月 | 35,000 | 27,031 | -7,432 | 6,000 | 2,872 | -4,105 |
| 10月 | 35,000 | 27,238 | -7,912 | 6,000 | 3,030 | -3,993 |
| 11月 | 35,000 | 28,940 | -5,691 | 6,000 | 2,933 | -4,144 |
| 12月 | 35,000 | 29,640 | -5,023 | 6,000 | 2,863 | -4,083 |
| 1月 | 35,000 | 28,940 | -4,760 | 6,000 | 2,863 | -3,937 |
| 2月 | 35,000 | 29,540 | -5,116 | 6,000 | 2,858 | -4,219 |
| 3月 | 110,500 | 86,000 | +36,187 | 16,000 | 12,750 | +5,835 |

※令和7年度 就労継続支援B型事業 平均工賃 35,034円

| | | |
|---------------|---------|--------------|
| 前年度(令和6年度)実績 | 37,818円 | 前年度比 -2,784円 |
| 前々年度(令和5年度)実績 | 35,500円 | 前々年度比 -466円 |

(5) 委託作業収入実績 (令和7年4月～令和8年3月)

| | | |
|---------------|-------------------------|-------------------|
| 1 | 静岡県保険医協会：新聞折り、封筒入れ | 2,164,976円 |
| 2 | (株)十字屋紙器：プラモデル袋詰め | 4,505,386円 |
| 3 | (株)大富工業：自動車部品の組み立て | 199,239円 |
| 4 | (株)大須賀製作所：ネジの袋詰め | 334,462円 |
| 5 | (株)故紙センタートヨタ：トイレトペーパー販売 | 212,960円 |
| 6 | 静岡県社会就労センター協議会：セルフ茶販売 | 142,690円 |
| 7 | (株)半田工業所：ネジの袋詰め | 355,924円 |
| 8 | 海上保安庁清水海上保安部：灯台草刈り | 303,470円 |
| 9 | ホンダカーズ静岡(株)：故紙回収 | 79,200円 |
| 10 | 日本ハム(株)ギフト販売 | 16,938円 |
| 11 | ぐっとくる合同会社 | 3,396円 |
| 12 | お菓子販売 | 15,700円 |
| 13 | レモン販売 | 9,600円 |
| 合 計 | | 8,343,941円 |
| 前年度(令和6年度)実績 | 12,879,827円 | 前年度比 -4,535,886円 |
| 前々年度(令和5年度)実績 | 11,617,723円 | 前々年度比 -3,273,782円 |

(6) 行事、イベント状況

| | 行事内容 |
|-----|----------------------------|
| 4月 | 令和7年度入園式 |
| 6月 | 嘱託医山田医師による利用者健康診断 いちご狩り |
| 9月 | 歯科検診 |
| 10月 | インフルエンザ予防接種(希望者) 親子遠足 |
| 12月 | クリスマス会 静岡済生会総合病院による利用者健康診断 |

| | |
|----|-------|
| 1月 | 成人式 |
| 3月 | 地域交流会 |

その他

- ・ 音楽療法(希望者のみ)、血圧測定は毎月実施
- ・ 運動療法は、土曜日に実施(希望者のみ)

(7) 実習生及び見学者受け入れ状況

① 特別支援学校等実習生

| 静大附属 | 静岡北 | 清水 | 静岡中央 | その他※ | 計 |
|------|-----|----|------|------|----|
| なし | 2名 | なし | なし | 1名 | 3名 |

※その他は他事業所利用者1名

② 大学・短大等実習生

| 大学・短大等 | 中学校 (体験学習) | ボランティア※ | 計 |
|--------|---------------|---------|----|
| 4名 | 1名 | 3名 | 8名 |

※ボランティアはサマーショートボランティアに参加(高校生)

③ 見学者

| 支援学校関係 | 施設関係 | その他※ | 計 |
|--------|------|------|-----|
| 48名 | 3名 | 1名 | 52名 |

※その他はシルバー人材センター職員1名

④ 職場体験実習 なし

(8) 職員研修実施状況

| 日にち | 主催 | 研修名 | 参加職員 |
|------|------------|-------------------------------|----------------|
| 6月9日 | 静岡市保健所 | 食中毒予防のための衛生講習会 | 調理員1名 |
| 7～8月 | 静岡県社会福祉協議会 | 社会福祉法人・施設事務職員経 理基礎口座 オンライン | 支援員1名 事務員1名 |

| | | | |
|------------------------------|---------------------------|--|------------------|
| 8月23日 | NPO 法人 まあぶる | ABA 講座 | 支援員 1 名 |
| 9月1日 | 静岡県社会福 祉協議会 | 心の底から信頼される福祉職員 になるために～仕事・自分・人と 向き合う～ | 支援課長、 支援員 2 名 |
| 9月1日 | 静岡県社会福 祉法人経営者 協議会 | 静岡県経営協セミナー | 企画課長 支援員 1 名 |
| 9月10日 | 静岡県社会福 祉協議会 | 行動障害支援に役立つ「基本の コツ」講座 | 支援員 3 名 |
| 9月11日 | 静岡県国際以 後人材サポー トセンター | 外国人介護職員支援・教育担当 者会議 | 企画課長 |
| 9月 25、26日、 10月 7、8日 | 静岡県健康福 祉部障害者支 援局 | 強度行動障害支援者養成研修 (基礎研修) | 支援員 2 名 各 2 日 |
| 10月10日 | 厚生労働省職 業安定局 | 事業主のためのハローワーク活 用セミナー | 企画課長 |
| 11月13日 | 静岡県社会就 労センター協 議会 | 「SELP って何？」～働くことの 意味と工賃向上～ オンライン | 支援員 1 名 |
| 11月12日 | 株式会社 Build WORKS Lab | 新人のための障害理解セミナー | 支援員 1 名 |
| 11月13、 14、20、21 日 | 静岡県健康福 祉部障害者支 援局 | 強度行動障害支援者養成研修 (実践研修) | 支援員 2 名 各 2 日 |

| | | | |
|--------|--------------------------|-----------------------|---------------------------------|
| 11月28日 | 静岡県立 磐田学園 | 静岡県立磐田学園強度行動障害 研究会 | 支援員 1名 |
| 12月27日 | NPO 法人 まあぶる | ABA 講座 | 支援員 1名 |
| 2月20日 | 静岡市地域生 活支援 まいむ・まいむ | 第3回事業所連絡会 | 支援員 2名 |
| 3月21日 | 当法人主催 | 虐待防止研修 | 施設長、課 長、支援 員、調理員 計 24名 |

(9) 苦情申し立て状況

| No. | 日にち | 申出人 | 内 容 |
|-----|------------|-------------|--|
| 1 | 12月 22日 | 保護者 (母親) | 16時頃保護者より「1月の短期入所の決定文書に、日程変更希望の申し出が反映されていない」と入電あり。本来であれば日程変更希望の日でお願いしたかったが、その日付近で連泊が組まれており、ご本人の気持ちも考慮する必要があるため、結果としては変更希望日ではなく、最初に申し込んだ日で調整していただくこととなった。謝罪をし、ご容赦いただけた。 |

(10) 会議開催状況

- ・職員、支援員会議 (月1回)
(4/25, 5/26, 6/25, 7/25, 8/26, 9/25, 10/23, 11/25, 12/25, 1/26, 2/26)
- ・責任者会議 不定期 (4/11, 6/15, 7/18, 8/2, 9/4, 10/9)
- ・課長会議 毎週明け(月曜日実施)
- ・虐待防止委員会(不定期開催) (8/2)

(11) 広報誌「青い鳥」発行状況

1回目… 5月27日 549部発行

2回目…11月25日 590部発行

(12) その他

特になし

2. 日本平ホーム・日本平ハイツ（共同生活援助〔包括型〕事業）

（1）総括（1年の振り返り）

1. 「入居者の健康維持、安全確保」について

生活の場であるグループホーム内において健康面、特に感染症関連は重要事項である為、引き続き感染拡大防止対策は継続した。また入居者個人の健康面についても加齢と共に病気のリスクが上がる為、日常の様子を観察、異変に気付く意識を持って支援を行った。週末もグループホームで過ごす機会が増え、体調面は特に気を付けて取り組んだ。

2. 「地域連携推進会議の開催」について

今年度より「地域連携推進会議」の実施が必須となり、地域に存在するグループホームの運営を透明化し、情報の公開、共有化を図りながら、質の向上を目指すための会議である。入居者、保護者、地域の民生委員、児童委員の方、経営に携わっている方等の構成員で委員会の実施を行った。(実施:9月10日)

3. 「24時間 365日稼働に向けた取り組み」について

令和8年度からの本稼働に向けて7年度より試みを開始した。週末開所の日数を徐々に増やしていき、お盆の開所、職員体制の確立を調整しながら取り組んだ。入居者の中には今までどおり週末は帰宅する人もいるが、少しずつ慣れていただくように促しを行っている。

4. 「職員の確保」について

年度当初から日本平ハイツに職員が必要な状況があった。静岡市シルバー人材センターに相談して、夕方勤務の職員の確保に繋げた。日本平ホームでは、365日開所に向け、主に週末の夕方から夜勤にかけての職員や日曜朝の職員など、体制の検討を重ね職員募集を行った。何名か応募はあったが、継続雇用には至らなかった。新規外国人職員と現職員で調整して対応することとした。

（2）利用者の状況（令和8年3月31日現在）

定員 12名（日本平ホーム7名、日本平ハイツ5名） 現員 12名

① 年齢別在所要者数 (単位：名)

| 区分 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60歳以上 | 計 | 平均 |
|----|-----|-----|-----|-----|-------|----|-------|
| 男性 | 1 | 3 | 1 | 2 | | 7 | 40歳 |
| 女性 | 0 | 1 | 0 | 2 | 2 | 5 | 55歳 |
| 計 | 1 | 4 | 1 | 4 | 2 | 12 | 46.2歳 |

② 施設在所要年数 (単位：名)

| 区分 | 1年未満 | 1～10年 | 10年以上 | 計 | 平均 |
|----|------|-------|-------|----|------|
| 男性 | 0 | 5 | 2 | 7 | 7年3月 |
| 女性 | 0 | 2 | 3 | 5 | 9年9月 |
| 計 | 0 | 7 | 5 | 12 | 8年4月 |

(3) 利用実績

※利用率は定員に対してのものです。延利用者数 / (定員 × 支援日数)

| 月 | 支援日数 / 開所日数 | 延利用者数 | 利用率 |
|-----|-------------|--------|----------|
| 4月 | 22 / 30日 | 263名 | 99.6% |
| 5月 | 24 / 31日 | 271名 | 94.0% |
| 6月 | 24 / 30日 | 274名 | 95.1% |
| 7月 | 26 / 31日 | 287名 | 91.9% |
| 8月 | 28 / 31日 | 297名 | 88.3% |
| 9月 | 27 / 30日 | 292名 | 90.1% |
| 10月 | 28 / 31日 | 297名 | 88.3% |
| 11月 | 26 / 30日 | 282名 | 90.3% |
| 12月 | 27 / 31日 | 286名 | 88.2% |
| 1月 | 27 / 31日 | 300名 | 92.5% |
| 2月 | 25 / 28日 | 268名 | 89.3% |
| 3月 | 31 / 31日 | 304名 | 81.7% |
| 計 | 315 / 365日 | 3,421名 | 平均 90.5% |

※支援日数とは、職員が支援を実施した日数のこと。

※開所日数は、職員の支援がなく利用者のみで生活した日数も含む。

(4) 職員会議実施状況

1回/月実施

(5) 利用者ミーティング実施状況

1回/月 実施

(6) 避難訓練実施状況

不定期実施

- ・日本平ホーム…6/24, 10/28 (通報訓練含む), 1/26, 3/24 (通報訓練含む)
- ・日本平ハイツ…未実施 (令和8年5月実施予定)

(7) 地域連携推進会議実施状況

9月10日(水) 13:30~15:00 (日本平ホームリビングにて)

出席者8名

- ・グループホーム入居者代表
- ・グループホーム入居保護者代表
- ・地域住民代表 2名
- ・福祉、経営の有識者 1名
- ・グループホーム管理者
- ・グループホームサービス管理責任者
- ・グループホーム世話人代表

3. 日本平ホーム短期入所事業所（短期入所事業）

（1）総括（1年の振り返り）

1. 「利用稼働率の向上」について

短期入所事業の目標稼働率を80%と設定し、利用者の拡大、複数回利用の促し、相談支援事業所への働きかけを実施した。年間平均51.8%と言う結果となり、次年度に向けて18歳以下の利用者に枠を拡大する試みを進めている。また、定員2名についても再検討する必要性を感じ、今後の課題とした。

2. 「利用者の健康維持、安全確保」について

短期入所利用の際は日本平ホーム入居者同様、検温等で健康状態を観察し短期入所アンケートにより体調の確認を実施した。異変があれば保護者に連絡等の対応を実施した。服薬に際しては確実に服用したかの確認を行い、過ごしている。居室内、建物内に危険個所が無いよう配慮した。

3. 「ご家族の負担軽減」について

1泊2日の利用が基本であるが、連泊の希望も受入れ、保護者の負担軽減を図った。また各利用者が保持している短期入所の利用量を全て使って頂けるように複数回利用の声掛けを行い、保護者自身の時間を楽しんでいただけるように配慮した。またシーツ、タオル等のリネン類はグループホーム側で貸出、洗濯を行い、使用料と言う形で頂き、その分持参の荷物を減らし、短期入所準備の負担軽減も図り、より利用し易い環境づくりに配慮した。

（2）利用実績（定員2名）

（単位：名）

| 月 | 区分 1 | 区分 2 | 区分 3 | 区分 4 | 区分 5 | 区分 6 | 延利用者数 | 開所回数 | 利用率 |
|---|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-------|------|-------|
| 4 | | | 3 | 2 | 17 | 2 | 24 | 18 | 66.6% |
| 5 | | | 4 | 2 | 18 | 3 | 27 | 20 | 67.5% |
| 6 | | | 4 | 2 | 16 | 3 | 25 | 21 | 59.5% |
| 7 | | | 4 | 3 | 15 | 5 | 27 | 24 | 56.2% |
| 8 | | | 4 | 3 | 16 | 5 | 28 | 24 | 58.3% |

| | | | | | | | | | |
|----|--|--|----|----|-----|----|-----|-----|-------------|
| 9 | | | 4 | 2 | 15 | 1 | 22 | 26 | 42.3% |
| 10 | | | 4 | 3 | 16 | 5 | 28 | 27 | 51.8% |
| 11 | | | 3 | 3 | 14 | 4 | 24 | 24 | 50.0% |
| 12 | | | 3 | 3 | 12 | 4 | 22 | 26 | 42.3% |
| 1 | | | 4 | 2 | 16 | 5 | 27 | 27 | 50.0% |
| 2 | | | 2 | 3 | 14 | 4 | 23 | 24 | 47.9% |
| 3 | | | 4 | 2 | 16 | 4 | 26 | 31 | 41.9% |
| 計 | | | 43 | 30 | 185 | 45 | 303 | 292 | 平均 51.8% |

※利用率は定員に対してのものです。(延利用者数/(定員×開所回数))

(3) 避難訓練実施状況

日本平ホームと合同で実施 4回/年 実施

事業報告の付属明細書

1. 該当なし